



WWF

FACT SHEET

JULY

2019

Sustainability



サンマの現状と資源管理について



1. サンマの生態

サンマ (*Cololabis saira*) は、日本から北米西岸に至る太平洋北部の亜寒帯海域に分布しています (図1)¹。サンマの寿命は約2年、最大約40cmまで成長し、1年で成熟を迎え (体長約25cm)、冬に南方で数回産卵します^{2,3}。その後、餌を求めて北上し、8月にはオホーツク海からサハリン東岸に到達した後、秋に再び南下します (南北回遊)。また、

東西方向にも回遊することも知られており、6~7月には日本のはるか沖合、東経155度~西経170度付近に多く分布していますが、秋以降には日本近海に回遊します。ただし、北太平洋に分布するすべてのサンマが日本近海に回遊するわけではなく、東方沖合の公海域を南下する群もいると考えられています⁴。

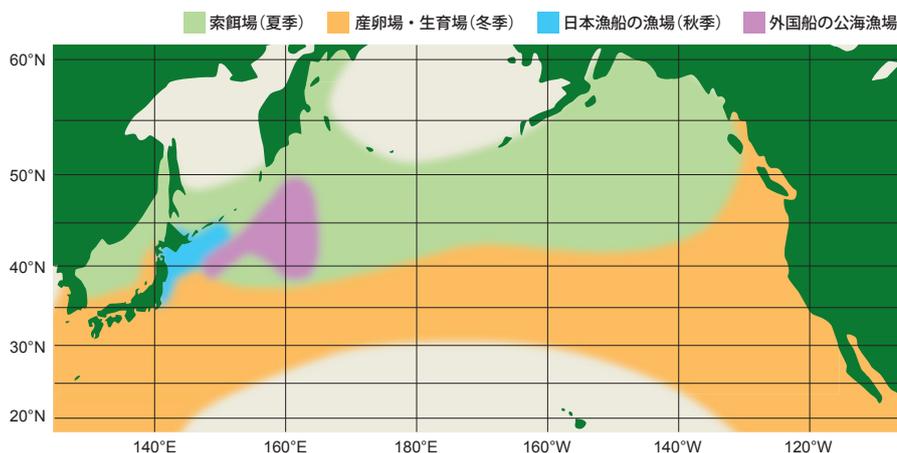


図1. サンマの分布域



2. サンマの漁業

現在、日本、ロシア、台湾、韓国、中国およびバヌアツ漁船がサンマを漁獲しており（図2）、その大半は棒受網漁（図3）により漁獲されています。

サンマ漁は、1950年代にはすでに日本および韓国によって行われており、1960年代からは旧ソ連、1980年代末か

らは台湾も開始しました。1990年代後半以降、日本のサンマの漁獲割合は徐々に低下し、現在は台湾が最も漁獲量が多く、次いで日本、中国の順となっています。また、日本およびロシアは、主に自国のEEZ内を漁場としているのに対し、台湾、中国およびバヌアツは公海域を漁場としています¹。

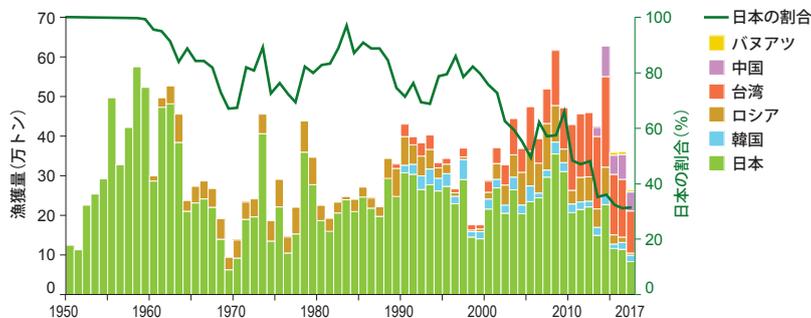


図2. サンマの漁獲量および日本の漁獲割合の推移

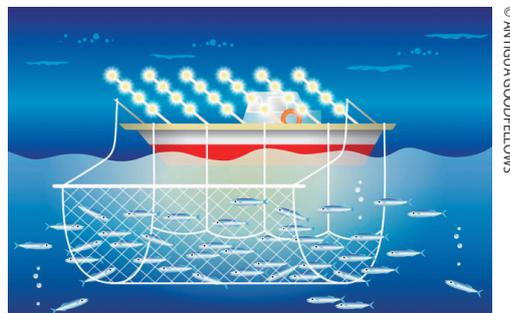


図3. 棒受網漁

3. サンマの資源状況と資源管理措置

サンマ資源は、2015年に正式に発効した地域漁業管理機関である北太平洋漁業委員会（North Pacific Fisheries Commission：NPFC）によって管理されています（表1）¹。

2018年4月のNPFCサンマ小科学委員会では、資源評価方法についてのメンバー間の見解相違のため（表2）、資源評価結果の合意に至りませんでした⁵。そのため、サンマ資源の管理措置の導入が遅れており、大きな問題となっています。

表1. NPFCにおけるサンマ資源管理措置

資源管理措置（CMM2018）
許可漁船の登録
遠洋漁業国・地域の許可隻数の増加禁止
VMS（Vessel Monitoring System）の設置
サンマの洋上投棄禁止
小型魚の漁獲抑制の奨励

表2. 2018年NPFCサンマ小科学委員会に提出された各国の資源評価結果

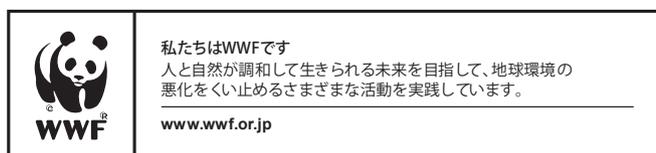
	資源評価結果
日本	レッド 過剰漁獲、枯渇状態
台湾	イエロー 過剰漁獲
中国	グリーン 過剰漁獲でも乱獲状態でもない

4. WWFの要望

- 北太平洋漁業委員会第4回年次会合（NPFC4, 2018年）で合意したとおり、第5回年次会合（NPFC5, 2019年）にて資源評価結果を合意すること
- 合意した資源評価結果に基づいて、予防原則に従った総漁獲可能量を早急に設定すること
- サンマ資源について、早期に限界管理基準値、目標管理基準値を合意し、それに基づいた漁獲管理方を設定すること
- 漁獲証明制度の実施と、トレーサビリティを確立すること

参考文献

- 1 国立研究開発法人水産研究・教育機構、平成30年度国際漁業資源の現状
- 2 多紀保彦、奥谷喬司、近江卓、食材魚貝大百科第2巻、平凡社
- 3 Suyama, S., Kurita, Y., and Ueno, Y. 2006. Age Structure of Pacific saury *Cololabis saira* based on observations of the hyaline zones in the otolith and length frequency distributions. Fish. Sci., 72: 742-749.
- 4 Suyama, S., Nakagami, M., Naya, M., and Ueno, Y. 2012. Migration route of Pacific saury *Cololabis saira* inferred from the otolith hyaline zone. Fish. Sci., 78: 1179-1186.
5. NPFC Yearbook 2018



本件に関するお問い合わせ

WWFジャパン（公財）世界自然保護基金ジャパン
自然保護室 海洋水産グループ
fish@wwf.or.jp Tel: 03-3769-1718
東京都港区三田1-4-18 三田国際ビル3階